

溶剤なのに溶剤臭くない!?

新発想の“超低臭”溶剤形ふっ素樹脂塗料「V フロン#201 ニオイの少ないタイプ」を発売

大日本塗料株式会社（本社：大阪市此花区、代表取締役社長：里隆幸）は、この度、溶剤形でありながら溶剤特有のニオイが少ない塗料「V フロン#201」（上塗・プライマー）を開発し、2019年3月1日より発売いたします。この塗料は、従来の溶剤形塗料の作業性の良さを維持しながらも、塗装現場において悩みの種であった溶剤臭問題を解決する業界初のコンセプトとなる製品です。

● 背景 日中のオフィスビルでの塗装における臭気課題

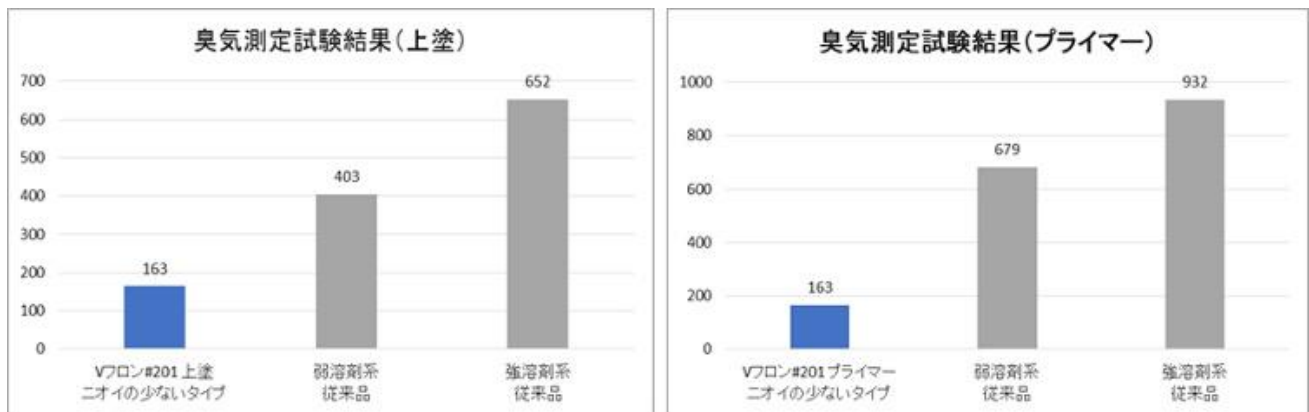
オフィスビルなど多くの入居者がいる場所では、外装塗り替えを行う際、臭気の課題は絶えません。臭気を最も低減できるのは水性塗料ですが、鉄・非鉄金属への塗装においては溶剤形塗料と比較すると長期付着性が劣るため、溶剤形塗料が多用されているのが現実です。

しかし、溶剤臭は高密度のオフィスビルであっても臭気が入り込み、逆に溶剤臭が抜けにくいという問題が発生します。このようなことから、近年、弱溶剤タイプでは溶剤臭による人体への影響はほとんどないものの、日中のオフィスビルなどは、より低臭化が求められるようになりました。

● 製品の特徴 特殊溶剤を使用することで溶剤臭を大幅に低減

【特徴①】従来の溶剤型塗料に比べ、大幅に臭気を低減

- ✓ 特殊溶剤を使用することで、臭気レベルを従来の強溶剤形塗料の3分の1以下、弱溶剤形塗料の2分の1以下まで低減
- ✓ 日中のオフィスビルなど人口密度の高い塗装現場での臭気問題の解決に貢献します。



※新コスモス電機株式会社の臭気測定器「XP-329ⅢR」を用いて測定したものです。

※臭気に関しては個人差がありますのでご注意ください。

【特徴②】耐候性、作業性に優れた溶剤形ふっ素樹脂塗料

- ✓ ふっ素樹脂塗料なので、高耐候仕上げが可能です。
- ✓ 水性塗料では適用困難な金属製素地に対しても塗装が可能です。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

大日本塗料株式会社 建築塗料事業部マーケティンググループ
TEL：06-6266-3117 FAX：06-6266-3159